

町並みの保存による観光交流人口の拡大



【三楽荘】（国登録有形文化財）三楽荘（旧保澤家住宅）は、明治期に東城の名匠と言われた横山林太郎棟梁により建てられ、東城のまちなみ景観の代表的な町屋です。

東城町市街地は、たたら製鉄の集散地「くろがねどころ」として古くから栄えてきた町です。今なお城下町の風情が残る民家や店舗が多く残っており、その町並みを観光資源として活かした取組を行っています。地域住民で組織する「東城まちなみ保存振興会」を中心に、東城まちなみ春まつり・まちなみぶらり散歩ギャラリー・お通りなどのイベントを開催し、平成21年には『夢街道ルネッサンス認定地区「街道東城路」』にも認定され、多くの観光客が訪れるようになりました。

国道314号線は東城地域にとって町の骨格となる幹線道路であり、東城バイパスの整備により、沿線の土地利用や交流の促進、市街地内交通の円滑化と歩行者の安全確保が期待できます。

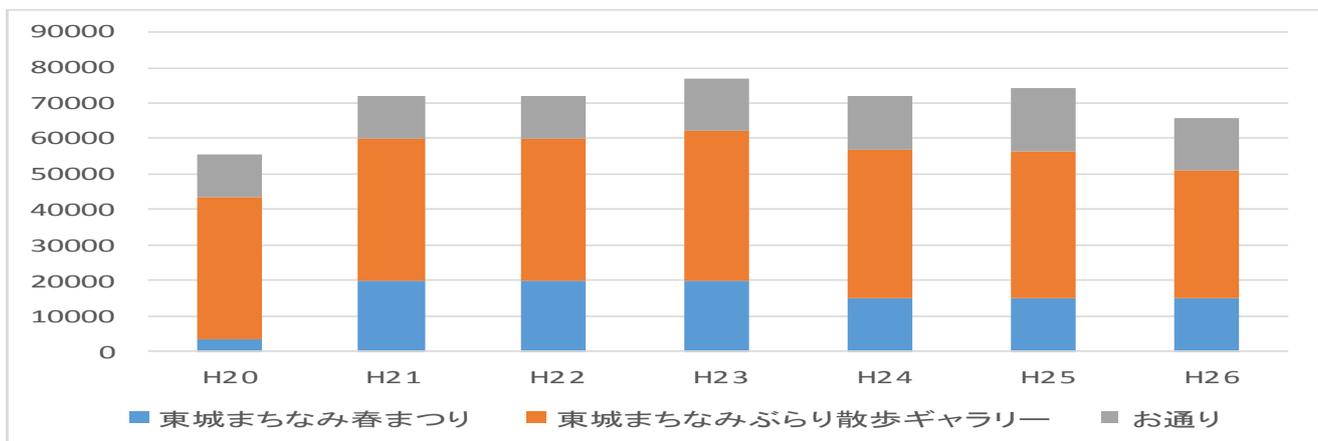


▲【お通り】江戸時代の文献にもその姿が残る東城の伝統行事です。大名行列、武者行列が風情ある東城市街地を練り歩きます。



▲【まちなみぶらり散歩ギャラリー】昔の風情を色濃く残す町並みの商店や民家に家々のお宝や絵画など様々な作品が展示され、期間限定ギャラリーになります。

▼【入込観光客数（東城町市街地）】



当該区間は、東城町中心部の人家連担区間を通過するため、渋滞・事故が多発し、交通の隘路区間であり、歩行者やドライバーにとって大変危険な状況になっております。